

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年10月15日

計画の名称	公共施設の整備改善による安心・安全な住み良いまちづくり												
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	うるまし												
計画の目標	<p>安慶名地区は、戦後、米軍に強制接収された人々らが移り住み無秩序にまちが形成され、人口の増加に伴って商店街も形成されうるま市の中心市街地として発展してきた。しかし、近年は周辺地域での大型店の出店等による商店街の衰退や無秩序な市街地形成による家屋の密集化、老朽化により都市機能の低下が著しい状況となっている。</p> <p>このような中、「(旧)具志川市中心市街地活性化基本計画」において、市街地の整備改善および商業等の活性化を一体的に推進するため本地区が中核的な位置づけがなされ、土地区画整理事業による公共施設の整備改善と宅地の利用増進並びに不良住宅の解消等住環境の整備改善を図るとともに商業機能の強化等を地元まちづくり活動と連携し、安心・安全な住み良いまちづくりを目指す。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	84	A	78	B	0	C	6	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	7.14	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (R1末)
1	安慶名地区における居住人口を600人(H27)から1,200人(R1)に増加 安慶名地区における居住人口を把握する。	600人	900人	1200人
2	まちの賑わいを創出するイベント等の開催数を20回/年(H27)から30回/年(R1)に増加 まちの賑わいを創出するイベント等の開催数を調査する。	20回/年	25回/年	30回/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	うるま市	直接	うるま市	—	—	安慶名土地区画整理事業	都市再生区画 A=16.2ha	うるま市	■	■	■	■	■	78	—	
												小計						78	
											合計						78		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	うるま市	直接	うるま市	-	-	住居表示整備事業	住居表示実施	うるま市	■					6	-	
		住居表示を実施し、訪ねやすい住み良いまちづくり。																	
	C13-002	市街地	一般	うるま市	間接	団体	-	-	防犯灯整備事業	防犯灯整備事業	うるま市				■	■	0	-	
		自治会が行う防犯灯の設置に対して助成を行い、安心・安全なまちづくりを実現する。																	
	C13-003	市街地	一般	うるま市	直接	うるま市	-	-	サイン整備事業	サイン整備事業	うるま市				■	■	0	-	
		案内板等を整備することにより利便性の高いまちを実現する。																	
										小計						6			
										合計						6			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

実施主体：都市建設部 都市政策課

事後評価の実施時期

令和2年12月

公表の方法

沖縄県うるま市のホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・安慶名地区における居住人口が600人（H27）から700人（R1末）に増加した。
- ・まちの賑わいを創出するイベント等の開催数は20回/年（H27）から18回/年（R1）と減少した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

社会資本総合整備計画は事業継続中であり、今後は県道沖縄石川線の車道整備工事及び換地処分に向けての換地計画の策定等を進めることで、早期の事業完了に努める。

また、土地の利活用を促すための情報発信を行い、地区内の人口増加に繋げていく。

更に、県道沖縄石川線において、歩道の賑わい創出のために他部署と協力してイベントの実施を行い、イベントが定期的開催されるよう取り組み、イベント開催数の増加に繋げていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	安慶名地区における居住人口		
	最終目標値	1200人	一般住宅地としての使用を予想していた個所に商業施設等が建設されたことにより、区画整理事業地区内における居住面積が減少していることが要因と考えられる。また、区画整理事業が長期間に及んでいるため、移転補償により一時的に地区外に転出している地権者が高齢化等のため、土地に活用予定が未定となっている箇所があることも要因と考えられる。
	最終実績値	700人	
2	まちの賑わいを創出するイベント等の開催数		
	最終目標値	30回/年	平成29年度に市内で学習・文化振興施設が供用開始したことにより、地域交流センター等でのイベントの開催数が減少したと考えられる。また、令和2年2月からは新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の開催が自粛されたことも要因と考えられる。
	最終実績値	18回/年	

参考図面

計画の名称	公共施設の整備改善による安心・安全な住み良いまちづくり		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	受付対象	うるま市

